

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

令和5年度コロナ対応の終息に伴い、希望が丘地区、希望が丘南地区両地区とも福祉保健活動に熱心に取り組まれています。行動制限のあった期間を経て、さまざまな気付きもありました。総合相談件数も介護相談を中心に増加傾向にあります。今年度も、認知症啓発事業の取組み、各地区のネットワークの構築・支援等推進に取り組めます。事業の運営を通じ、高齢者、子育て世帯、障害のある方等、幅広い世代へのアプローチを実施し、居場所や交流の場を作り、さまざまな形で情報発信や共有が出来る環境を作ります。地域の方々、福祉施設、行政機関等とも連携を取りながら、地域で目指す街づくりを推進していきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域ケアプラザが赤ちゃんから高齢者まで気軽に立ち寄れる場として、より知ってもらえるよう様々な事業を取り組んでいきます。今年度は子育て世代に向けた自主事業として、未就園児対象に「親子でリトミック」、学齢期対象に「スマートボールを作ろう」「こども薬剤師体験」を企画しています。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「横浜市チームオレンジモデル事業」では我が事として考えられるよう、当事者や家族からの話を聞く機会をつくり、地域住民や地域の様々な団体や地域で働く人とともに「認知症になっても安心して暮らせるまち」を目標とし、学び、話し合いながら取組みを行います。今年度は①子供、働き世代への働きかけ、②当事者の気持ちを直接きいてみる をテーマに、南希望が丘中学校や認知症グループホーム等と連携して地域住民に働きかけていきます
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	希望が丘地区の第4期地域福祉保健計画の目標でもある「助け合いのあるまちづくり」の中の「ちょっとした困りごとを地域で解決」する仕組みづくりを、課題や必要性を感じている老人会役員の皆さんを中心に「希望が丘地区でちょっとした困りごとを考える」をテーマに話し合いの場を設定し、地域づくりのきっかけとしていきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

--

令和6年度横浜市南希望が丘地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	高齢者・子ども・障がい者・生活困窮者等、地域の身近な相談窓口として、関係機関や地域住民の方々と連携を図ります。総合相談業務については、相談者の意志を尊重し、家族の強みや希望を確認しながら支援方法を検討していきます。情報提供の際には、複数の選択肢があることをお伝えし公正中立な対応をおこないます。	ケアプラザ内部の研修で個人情報取り扱い、法令遵守、職業倫理、コンプライアンス等、福祉従事者として求められる行動意識を高め、自発的行動、判断に繋がられるよう職員の育成をおこないます。車両・交通事故を防ぐため、車両安全管理責任者による安全運転研修も全職員対象実施します。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要支援1.2、事業対象者と認定された地域の高齢者に対し、介護予防ケアプランを作成し、作成にあたっては、サービス利用後の生活がイメージできるような明確な目標設定を行い、行動意欲を高め、本人の主体性を尊重します。また、委託契約を結んでいる居宅介護支援事業所との連携及び支援を行います。	要支援・要介護認定を受けた方を対象に居宅介護支援を提供します。地域包括支援センター併設の事業所として、地域との関わりを深め、ケアマネジメントを通じた地域貢献を目指します。運営規定に則り、適正な事業運営を行います。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】 原則として利用者の負担はありません。事業所の担当地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)を請求します。	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】 利用者の選択により通常の事業実施地域以外で居宅を訪問して指定居宅介護支援を行う場合には、それに要した公共交通機関利用料金の支払いが必要。
職員体制	管理者 主任ケアマネジャー 1名(常勤兼務) 保健師等 1名(常勤兼務) 社会福祉士 1名(常勤兼務)	管理者・主任介護支援専門員 1名(常勤兼務)、 介護支援専門員 3名(常勤専従2名・常勤兼務1名)
契約者数	人	

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標			

実施体制	【実施日数】	【実施日数】	【実施日数】
	【提供時間】	【提供時間】	【提供時間】
	【定員】	【定員】	【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】	【その他料金】
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】	【延べ利用者数】	【延べ利用者数】
	【契約者数】	【契約者数】	【契約者数】

令和6年度「横浜市南希望が丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,956,162		20,956,162		20,956,162	横浜市より
自主事業収入 (指定管理料充当の自主事業)			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	0		0		0	
収入合計	20,956,162	0	20,956,162	0	20,956,162	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,156,162	0	12,156,162	0	12,156,162	法人本部経費を含めない
本俸	9,346,162		9,346,162		9,346,162	
社会保険料	900,000		900,000		900,000	
手当計	1,700,000		1,700,000		1,700,000	
健康診断費	40,000		40,000		40,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	50,000		50,000		50,000	
その他	120,000		120,000		120,000	
事務費	2,766,000	0	2,766,000	0	2,766,000	法人本部経費を含めない
旅費	40,000		40,000		40,000	
消耗品費	500,440		500,440		500,440	
会議明い費	0		0		0	
印刷製本費	30,000		30,000		30,000	
通信費	600,000		600,000		600,000	
使用料及び賃借料	360,560	0	360,560	0	360,560	
自販機目的外使用料 (横浜市への支出)	10,560		10,560		10,560	
その他	350,000		350,000		350,000	
備品購入費	400,000		400,000		400,000	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費	40,000		40,000		40,000	
振込手数料	5,000		5,000		5,000	
リース料	60,000		60,000		60,000	
手数料	10,000		10,000		10,000	
地域協力費	0		0		0	
その他	720,000		720,000		720,000	
事業費	986,000	0	986,000	0	986,000	法人本部経費を含めない
自主事業費 (指定管理料充当の自主事業)	986,000		986,000		986,000	
その他			0		0	
太陽光パネル保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光パネル修繕 (追加)	0	0	0	0	0	
太陽光パネル修繕 (追加)	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施 (追加)	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施 (追加)	0	0	0	0	0	
管理費	4,574,000	0	4,574,000	0	4,574,000	法人本部経費を含めない
光熱水費	2,914,000		2,914,000		2,914,000	
清掃費	300,000		300,000		300,000	
機械整備費	60,000		60,000		60,000	
設備保全費	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	
空調衛生設備保守	150,000		150,000		150,000	
消防設備保守	100,000		100,000		100,000	
電気設備保守	300,000		300,000		300,000	
害虫駆除清掃保守	100,000		100,000		100,000	
駐車場設備保全費	150,000		150,000		150,000	
その他保全費	200,000		200,000		200,000	
共益費			0		0	
その他	300,000		300,000		300,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	法人本部経費を含めない
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	法人本部経費を含めない
支出合計	20,956,162	0	20,956,162	0	20,956,162	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	150,000	0	150,000	0	150,000
自主事業費 支出	986,000	0	986,000	0	986,000
自主事業 収支	△ 836,000	0	△ 836,000	0	△ 836,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	10,560	0	10,560	0	10,560	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	0	10,560	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大口目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度「横浜市南希望が丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括等＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	25,793,851		25,793,851		25,793,851	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	300,000		300,000		300,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,948,941		5,948,941		5,948,941	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			1,156,000		1,156,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	1,156,000		1,156,000		1,156,000	
収入合計	33,352,792	0	33,352,792	0	33,352,792	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	29,077,792	0	29,077,792	0	29,077,792	法人本部経費を含めない
本俸	17,387,792		17,387,792		17,387,792	
社会保険料	3,300,000		3,300,000		3,300,000	
手当計	7,500,000		7,500,000		7,500,000	
健康診断費	40,000		40,000		40,000	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額	500,000		500,000		500,000	
その他	350,000		350,000		350,000	
事務費	1,426,000	0	1,426,000	0	1,426,000	法人本部経費を含めない
旅費	30,000		30,000		30,000	
消耗品費	355,440		355,440		355,440	
会議贈い費	0		0		0	
印刷製本費	30,000		30,000		30,000	
通信費	60,000		60,000		60,000	
使用料及び賃借料	310,560	0	310,560	0	310,560	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	10,560		10,560		10,560	
その他	300,000		300,000		300,000	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	110,000		110,000		110,000	
手数料	10,000		10,000		10,000	
地域協力費	0		0		0	
その他	300,000		300,000		300,000	
事業費	1,508,000	0	1,508,000	0	1,508,000	法人本部経費を含めない
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	109,000		109,000		109,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	300,000		300,000		300,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000		315,000	
その他			0		0	
管理費	1,215,000	0	1,215,000	0	1,215,000	法人本部経費を含めない
光熱水費	775,000		775,000		775,000	
清掃費	80,000		80,000		80,000	
機械整備費	20,000		20,000		20,000	
設備保全費	240,000	0	240,000	0	240,000	
空調衛生設備保守	40,000		40,000		40,000	
消防設備保守	10,000		10,000		10,000	
電気設備保守	80,000		80,000		80,000	
害虫駆除清掃保守	20,000		20,000		20,000	
駐車場設備保全費	40,000		40,000		40,000	
その他保全費	50,000		50,000		50,000	
共益費			0		0	
その他	100,000		100,000		100,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	法人本部経費を含めない
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	法人本部経費を含めない
支出合計	33,352,792	0	33,352,792	0	33,352,792	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	30,000	0	30,000	0	30,000	
自主事業費 支出	878,000	0	878,000	0	878,000	
自主事業 収支	△ 848,000	0	△ 848,000	0	△ 848,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	10,560	0	10,560	0	10,560	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 10,560	0	△ 10,560	0	△ 10,560	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和6年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

令和6年4月1日～令和7年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入			0	2,600		2,600	21,005		21,005			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	収入合計(A)	0	0	0	2,600	0	2,600	21,005	0	21,005	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0			0	16,238		16,238			0			0
	事務費			0	169		169	536		536			0			0
	事業費			0			0	27		27			0			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	169	0	169	16,801	0	16,801	0	0	0	0	0	0
	収支 (A) - (B)	0	0	0	2,431	0	2,431	4,204	0	4,204	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	親子のフリースペース	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援の一環として、地域の子育て中のママたちの交流と、遊び場の提供を目的とします。	3:養育者及び乳幼児		親子のフリースペースとして多目的室を開放します。年12回 毎月第3月曜日9時30分～11時		
2	子育てサロン mam-mam	平成26年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	0歳児から未就学児の親子を対象に親子の交流の場と、ママ同士の交流、ヨガをすることでママのリフレッシュを図ることを目的とします。	3:養育者及び乳幼児		前半はフリースペースとして、後半はママのヨガ教室を開催します。年10回 毎月第2金曜日9時30分～11時		
3	えほんとわらべうたのひろば	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	絵本の読み聞かせやわらべうたを通して、親子の心と体の交流を育むとともに、ママ同士や地域のボランティアとの交流の場を提供し、育児中の孤立感の軽減を目的とします。	3:養育者及び乳幼児		前半はボランティアによるわらべうたと絵本の読み聞かせ、後半はフリースペースとして場所を提供し、ボランティアとの交流や参加者同士の交流の場として開催します。年11回 毎月第4水曜日10時～11時開催。		
4	ゆったり体操教室	平成25年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	立って運動することが難しくなってきた方を対象に、座位での介護予防を目的とした体操教室を開催します。	1:高齢者		イスに座って、セラバンドやゴムボールを使用した体操を行います。年23回 毎月第2・4水曜日 9時30分～11時00分		
5	うたってわくわく	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域住民(主に中高年)を対象に歌を歌うことで健康増進、また横の繋がりが持てる交流の場の提供を目的とします。	5:地域		季節に合わせた歌や昔懐かしい歌を口ずさんだり、音楽と脳トレを掛け合わせたプログラムを行います。年12回 10時00分～11時30分		
6	ふらっとサロン	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域住民の交流の場の提供と、ボランティア活動の場を提供する目的で開催します。	4:子ども・青少年		ゆったりとお茶を飲みながら地域住民同士の交流のできる場を提供します。年12回第2日曜日 13時～15時		
7	みんなでポッチャ!	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域住民同士の交流の場の提供を目的とします。障がいをお持ちの方でも気軽に参加していただき、地域との繋がりをもつきっかけづくりを目的とします。	5:地域		ポッチャで体を動かし、地域住民同士の交流を図ります。年12回 13時30分～14時30分		
8	登録団体説明会	平成25年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザを利用されている団体向けに、部屋貸し利用についてや、緊急時の避難経路について理解を図ることを目的とします。	5:地域		貸館の申込みや利用方法、緊急時避難経路、福祉保健活動について説明を行います。日頃利用されている皆さんから意見を伺う時間を設けます。年1回		
9	ケアプラ祭り	平成23年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	日頃の感謝の気持ちを込めて開催します。ケアプラザを利用していない地域の方にも、ケアプラザに足を運んでいただき、ケアプラザを知っていただくことを目的とします。	5:地域		子ども向けのコーナー、ステージコーナー、障害事業所の販売コーナー等を設けます。またボランティア活動の場の提供を行います。年1回 11月30日予定。		
10	みんなで大掃除会	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	登録団体の区分Ⅱの団体を対象に、福祉保健活動の活動の場を提供することを目的とします。	5:地域		日頃使用している部屋の清掃をしていただきます。年1回 12月		
11	ボランティアの集い	平成21年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	ケアプラザ事業等で活動されているボランティアを対象に、日頃の活動の感謝を伝えると共に、ボランティア同士の交流を目的とします。	5:地域		様々な事業等で活動されているボランティア同士の交流が図れるよう実施します。ボランティアに関わる職員にも参加してもらい、ボランティアとの交流を図ります。年1回		
12	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	平成23年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	65歳以上の方を対象に、ボランティア活動や地域活動の参加のきっかけづくりと、すでに活動されている方で65歳を超え方へのシニアボランティアポイントの周知を目的とし、登録研修会を開催します。	1:高齢者		よこはまシニアボランティアポイントの登録研修会を実施します。ケアプラザ自主事業等でボランティア活動をしている方、また始めるようとしている方、また広く地域一般の方を対象にケアプラザ新聞を通じて周知を行います。年1回 3月		
13	障害理解講座	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障害について多くの地域住民に知っていただき、啓発を行う事を目的とします。	5:地域		障がい事業所の方にご協力いただき、障がいのある方の理解を深めてもらう機会をつくります。年1回		
14	親子でリトミック	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	未就園児と保護者を対象に、子育て支援の一環として交流の場を目的に開催します。	3:養育者及び乳幼児		音楽にあわせて様々な遊びを行い、親子で体を動かしながら楽しめます。7月20日		
15	スマートボールを作ろう	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休みの特別企画として小学生対象に開催。	4:子ども・青少年		障がい事業所の旭カンパニーさんにご協力いただき、木工工作としてスマートボールを作ります。8月5日、6日		
16	こども薬剤師体験	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の小学生を対象として薬に対する正しい知識を持つことと、将来の仕事の一つとして「薬剤師」という仕事があることを知る機会とします。また保護者の方にもケアプラザを知って頂くきっかけとします。	4:子ども・青少年		旭区薬剤師会との共催により、薬剤師と大学院生により開催します。多様な実験を含んだ講義により、小学生が薬に対して興味や正しい知識を得られる場とします。9月28日		

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
- 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
- 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
- 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
- 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
- 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	乳幼児救命救急教室	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	乳幼児の子育て世代を対象に、いざというときの対処方法を学び、日常に活かしてもらうことを目的として開催します。	3:養育者及び乳幼児		さが丘消防出張所にご協力いただき、心肺蘇生やAEDの使い方、誤飲・発熱・けいれん時などの対処方法を学びます。年1回		
18	お楽しみ会	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て世代の交流の場と、ケアプラザを知るきっかけづくりを目的として開催します。	3:養育者及び乳幼児		おはなしボランティア「なんきのくまさん」にご協力いただきます。毎月の「えほんとかわべうたのひろば」の内容に加え、特別プログラムを行っていただきます。12月13日		
19	つながろうプロジェクト 南希望が丘ケアプラザエリア	平成29年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	障害のある方が地域で安心して生活できるまちづくりに向けて、地域住民と障がいのある方との相互理解を深めることを目的としています。	6:事業者	5	地域の代表者・エリアにある障害事業所の代表者・社協の会長・民児協の会長が集まり、お互いの抱える問題や課題について情報の共有を行います。年2~3回開催(不定期)		
20	きぼうファーム	平成28年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	希望が丘地区・希望が丘南地区支えあい連絡会、第3期地域福祉保健計画の取組の一環として実施します。『きぼうファーム』を通じて、障害児者やご家族と交流を回り、顔の見える関係づくりや相互理解を深めることを目的とします。	2:障害児・者	5	障害児者余暇支援事業として、野菜の収穫祭、わくわくスポーツ会などを実施します。年3回 6月、11月、2月		
21	こどもの居場所かけはし	令和3年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	不登校の小学生・中学生を対象に、学校にも家庭にも居場所がないと感じる子どもたちが、安心して過ごせる場の提供を目的としています。	4:子ども・青少年	5	一般社団法人かけはしとの共催。地域のボランティアと共に、不登校の子供たちの居場所としてケアプラザの場を提供しています。ボランティアと関わることで、子ども達の自己肯定感を感じられる経験を積み重ねていきます。年20回 第1、第3火曜日9時30分~11時30分開催。		
22	soil こどもの居場所「作って食べよう！」	令和4年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	不登校の小・中学生を対象に、学校にも家庭にも居場所がないと感じる子どもたちが、安心して過ごせる場の提供を目的としています。「作って食べよう！」では自分で料理をすることに特化した居場所です。	4:子ども・青少年	5	ハートフル・ポート、一般社団法人かけはしとの共催。子どもたちが自らメニューを考え、料理を作ります。子ども同士やボランティアの方々と交流を図ります。年11回 毎月第2木曜日10時~14時		
23	旭ふれあい区民まつり 地域ケアプラザPRコーナー 出展事業	平成24年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ブース来場者に地域ケアプラザについて知っていただくための機会とする。	5:地域		・パネル展示(ケアプラザの機能及び施設職員(職種別)の役割を紹介) ・地区別計画及びケアプラザ広報紙の配架 ・ゲーム企画(クイズ・輪投げ) ・啓発グッズ配布		
24	介護保険制度の基礎知識と活用講座	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	介護保険制度の仕組みや、介護保険サービスの種類と内容、利用するための手続きなど介護保険の基本をお伝えする講座です。	5:地域	1	南希望が丘地域ケアプラザ、地域包括支援センターの小谷が講義を担当します。介護保険の仕組みをホームページを用いながら詳しく説明します。年1回		
25	ミ・ディ	平成21年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	音楽を楽しんだり、工作による手作業、脳トレや体を軽く動かすミニ運動会などの介護予防の要素を盛り込んだ事業に月1回程度参加することで、高齢者の閉じこもりを防止し、仲間づくりの機会にすることを目的とします。	1:高齢者		季節にちなんだテーマに沿って、音楽活動や工作活動、体操およびレクリエーション活動、外出レクを行い、閉じこもり防止と外出の機会・他者交流の機会を提供・介護予防に取り組んでいきます。毎月第2又は第3月曜日(8月除く)年11回実施。		
26	介護者の集い	平成21年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の介護者を対象に、施設協力医のアドバイスも頂きながら、参加される方同士の情報交換や交流、介護に役立つ情報の提供、介護の悩みや疲れを共有できる場づくりを目的とします。	5:地域		介護者同士の交流や情報交換を行い、介護者の精神的負担の軽減、介護者の心の支えとなれる場づくりを行っています。毎月第2水曜日(8月除く)年11回実施。		
27	シニアサポーターひまわり	平成25年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	介護予防事業のボランティアとして活動できるスキルを学ぶことで、自分たちの生きがいや地域の担い手になっていく気持ちや育つように、地域包括支援センターと生活支援コーディネーターが協働して支援を行います。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「南希の森」継続支援に向けて、活動内容や自分たちに出来る介護予防普及啓発活動を身に付けていけるよう継続支援していきます。また、介護予防教室開催に向けて、ボランティア活動ができるスキルが身に付くよう支援していきます。勉強会:年3回程度 活動:月4回程度		
28	免疫力アップ教室	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	年を重ねることでおきるフレイルを予防するため、運動の機会を持つと共に栄養や口腔機能の維持改善の重要性を学ぶとともに、地域の方との交流の場としていきます。	1:高齢者	5	外出時自衛に伴いフレイル傾向に陥っている方々が元気に過ごしていただけるように、フレイル総論に関する啓発を行うとともに、ゆるく体を動かす運動から、運動習慣が身に付く教室を開催します。運動、栄養、口腔機能向上について学んで頂くとともに交流の場とします。5月~1月(8月を除く)全8回 第3木曜日10時~		
29	ウォーキングで筋活	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	坂道が多いという地域のため、下肢筋力が低下すると外出することが難しくなります。いつまでもご自身の足で歩き生活が楽しめるよう、歩くことで下肢筋力のアップに繋がる歩き方を学んでいただきます。	1:高齢者	5	姿勢を整えるところから学び、歩くことで下肢筋力だけでなく全身の筋力アップを行い、健康寿命を延ばす運動の機会とします。毎日の歩行が筋力の機会に変えられるよう歩行について学ぶ教室です。全4回(6月、7月、10月、11月 第1月曜日 10時~)		
30	元気づくりステーション「南希の森」	平成25年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協働体制を持って支援を行っています。また、参加者に対して、より一層自分達の運営の意識を高めていけるよう支援しています。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「南希の森」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。毎週火曜日10時~11時		
31	元気づくりステーション「ヒルズのわ」	平成27年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協働体制を持って支援を行っています。また、参加者に対して、より一層自分達の運営の意識を高めていけるよう支援しています。	1:高齢者	5	元気づくりステーション「ヒルズのわ」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。毎週金曜日10時~11時		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
- 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
- 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
- 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
- 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
- 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
32	元気づくりステーション「ホープの友」	平成28年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って支援を行っています。また、参加者に対して、より一層自分達での運営の意識を高めていけるよう支援しています。	1：高齢者	5	元気づくりステーション「ホープの友」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。毎週金曜日14時～15時半		
33	元気づくりステーション「中の原の和」	平成30年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って支援を行っています。また、参加者に対して、より一層自分達での運営の意識を高めていけるよう支援しています。	1：高齢者	5	元気づくりステーション「中の原の和」が円滑に活動できるよう、レクリエーションの支援やイベントの補佐、情報提供等の活動支援を引き続き行います。第1・3月曜日14時～15時		
34	公園deラジオ体操	令和4年度	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	希望が地区第4期地域福祉保健計画の目的「身近なところから生まれるつながり」を目標としています。希望が丘町内会の中心的な場所である公園で誰もが気軽に立ち寄り集まれるコミュニティの場となるよう働きかけ、地域住民の自主的な取り組みとなるよう支援します。	5：地域	1 4 5	ラジオ体操第1と第2を希望が丘ふれあいの森公園で週1回開催します。地域の幼稚園との交流も図ります。 毎週木曜日 10時～		
35	横浜市チームオレنجコーディネーターモデル事業「南希望が丘地域ケアプラザチームオレنج」	令和4年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	認知症になっても安心して暮らせるまちを目指し、ケアプラザ5職種がコーディネーター機能をいかし、地域とともにチームオレنجを作ります。今年度は子供や働き世代への啓発、当事者の気持ちを知ることなどをテーマに事業を展開していきます。	5：地域		①中学校での認知症理解講座、②グループホーム入居者との対談、③RUN伴への参加、④認知症サポーター養成ステップアップ講座、⑤認知症についての講演会等、新たな企画とこれまでの企画を継続しながら事業を展開していきます。①6月、2月開催予定 年5回程度（不定期）		
36	司法書士無料相談	令和元年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民に対し、成年後見制度の手続きや遺言作成、相続問題等について法律の専門職の支援を身近に受けられることができる機会を提供すると共に、ケアプラザと権利擁護機関との連携を強化することを目的とします。	5：地域		司法書士の先生による無料の個別相談を実施していきます。 奇数月第2水曜日 年6回実施		
37	オンライン無料法律相談	令和5年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民が、弁護士の相談を身近なケアプラザで受けられるようにすると共に、法テラスとの連携を強化することを目的とします。また、貧乏基準を掲示し、対象者を募ります。	5：地域		法テラスの無料弁護士相談を、オンラインを介してケアプラザで実施していきます。 偶数月第2水曜日 年5回実施		
38	旭区版エンディングノート活用講座	平成29年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	旭区版エンディングノートと一緒に書いていく過程を通して、これまでの生活を振り返り、これからの生活を安心して豊かに過ごせるよう、サポートしていくことを目的とします。	5：地域		旭区版エンディングノートの紹介に合わせて、成年後見制度・葬儀・相続・お墓等についても触れ、エンディングノートを書く意味を理解してもらうよう、実施します。また、講師に司法書士無料相談の先生をお呼びし、身近な相談機関としての周知も行います。ケアプラザと地区センター2か所で開催予定。 年2回実施		
39	消費者被害防止講座	令和元年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民が、頻発している振り込み詐欺等の悪質商法被害の実態を理解し、被害にあわないための知識、解決のポイントを学び、被害防止ができることを目的とします。	1：高齢者	5	両地区の消費生活推進委員共催し、地域の皆さんにより声が届くよう、地域と連携して講座を開催します。旭警察生活安全課に講師を依頼し、消費者被害防止について講義を行います。 年2回実施		
40	希望が丘南地区ジュニアボランティア養成講座	平成27年度	4：共催（1と2）	1：優先的に取り組み	希望が丘南地区のジュニアボランティアを対象に、ケアプラザの役割や高齢者・認知症、障害などについての理解を深めてもらい、ボランティア活動につなげることを目的とします。	4：子ども・青少年		福祉に対する理解を深めるため、高齢者や認知症、障害等についての講義の実施や福祉体験を実施します。 年1回実施 8月		
41	希望ヶ丘地区ちよつとした困りごとを考える会	令和6年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	高齢化が進む中、相談件数が増大しています。地域の困りごとを解決するにはフォーマルな介護サービスだけでは難しくなっています。危機感を感じている希望が丘地区の皆さんとともに地域住民主体の生活支援サービスを地区の資源として創設していきます。	5：地域	1	老人会の方を中心に、思いのある自治会長や地域住民とともにまずは話し合いの場を作り、現状の課題を把握して、どのようなサービスを作り出していくか検討していきます。 第1回目 5月 不定期開催		
42	出張講座承ります！	令和6年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	ケアプラザまで来ることが大変な方も多くいらっしゃる中、地域の老人会や団体の活動場所に向き、知っておいてもらいたい内容をテーマにして、地域の皆さんへの情報提供を目的とします。	5：地域	1	終活、エンディングノート、悪徳商法、認知症、介護保険、フレイル予防など、様々な内容をテーマに聞きたい内容を決めてもらい、包括職員による出張講座を行います。老人会や活動団体からの申込制とします。		
43	希望が丘南地区ボランティアネットの会	令和3年度	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	地域には子育て、障害児・者、高齢者などさまざまな分野での困りごとをサポートするボランティア団体いくつもある。地域共生社会を目指すため、分野をこえた課題共有の場やお互いの情報共有の場となる協議の場を設けます。	5：地域	6	希望が丘南地区社協と共催し、希望が丘南地区の子育て、障害、高齢分野での活動団体と一緒に地域ケアプラザで活動するボランティア団体などにも出席してもらい連絡会を開催します。地域の活動団体間の情報共有や課題共有の場をつくり、ネットワークの構築を目指します。 年3回程度（不定期）		
44	うたごえ「音楽る」	令和2年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	ミュージックボランティア音楽を中心に、コロナ禍で外出が難しい地域住民と、ITが苦手なケアプラザへ来るのが困難でない地域住民の両方を対象に、多様な形（ハイブリッド）で社会参加できるよう、世代や地域を超えた交流の場の提供を行います。	5：地域		オンラインとリアル（会場）両方の場で参加の仕方を、参加者が選択できる「うたごえ音楽る」を開催します。ボランティア自身の社会参加、参加者との交流の場となり、同じ場を共有し、つながりを感じられる場とします。 毎月4月曜日		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
45	ミュージックボランティア音楽る	平成29年度	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	高齢者の集う場所やサロン、また子供たちの集う場所などで「音楽で地域を元気に」を目的とし創設したミュージックボランティア。地域の担い手として、また社会参加のきっかけづくりとして、引き続き活躍の場の提供、活動の支援を行います。地域とボランティアの連携も図ります。	5：地域		決定した活動の支援、活動を充実させるためのミーティングや勉強会を開催します。Zoomミーティングと対面ミーティングを交互で行います。 ●ミーティング 毎月第2又は第3日曜日 ●活動 月2～4回程度		
46	みんなの集いの場	平成30年度	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	エリアを限定しない教会（付属の幼稚園）の集会室を利用し、誰もが気軽に参加できる目的で立ち上げた「みんなの集いの場」。昨年10月より活動場所を公園から元の活動の場であるめぐみ幼稚園に戻り、新たな居場所として地域にひろまっていこう、支援していきます。	1：高齢者	3、4、5	ステップ1・2希望の風とコーヒーボランティアが中心となり、身近な場所で集まり、気軽に運動できる集いの場の運営・活動を支援していきます。めぐみ幼稚園 毎月第2・第4火曜日 13:45～15:30		
47	認知症&予防カフェ みなとの茶店 きっさブルメリア 支援	平成29年度	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	「きぼうタウンプロジェクト」の取組として立ち上がった2か所の認知症&予防カフェにおいて認知症への理解・啓発を連携して行うことを目的とします。	1：高齢者	5	「みなとの茶店」と「きっさブルメリア」の後方支援として、運営支援、活動支援を引き続き行います。 みなとの茶店 毎月第3水曜日 14:30～15:30 きっさブルメリア		
48	生活支援・介護予防補助事業 サービスB 希望カフェ 支援	平成30年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	生活支援・介護予防補助事業サービスB（通所支援）の取組に手を挙げた希望が丘商店会中にあるコミュニティカフェ「希望カフェ」の活動支援を行い、旭区役所、旭区社協と連携しながら事業を円滑に進められるよう、また、地域に根差した活動となれるよう、支援を行います。	6：事業者	5	6年目の活動に入り、利用者も確実に増えています。地域とのネットワークの構築や活動に向けての支援を継続して行います。 定例会・勉強会 年1回程度実施		
49	希望が丘南地区買い物支援プロジェクト	平成30年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	買い物する場所が遠く、買い物に困難なエリアの方達が少しでも外出でき、目で見ても買い物できる機会を増やす事ができ、また地域のコミュニティの場となるような活動を地域住民とともに目指します。	5：地域		ダイエー、青果他店、中央卸売市場、障害事業所のパン屋など様々な主体と連携して移動販売、出張販売の支援を行います。新たなアプローチとして相鉄ローゼン、とくし丸、マルエツ等から打診があり、地域の皆さんとニーズを探り、生活支援サービスの創出につながるかどうか検討します。		
50	チームよろず場	令和4年度	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	希望が丘南地区支えあい連絡会から立ち上がった目標Aを推進する組織。今年度は今後の「チームよろず場」としての方向性を検討していく。	5：地域		既存の居場所をマップにおこし、可視化していく。		
51	町の防災組織連絡会	令和4年度	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	希望が丘南地区支えあい連絡会から立ち上がった目標Dを推進する組織。「大きな災害にあっても、隣近所の顔の見える助け合いの体制づくり」を目指す。今年度は町の防災組織、防災拠点、連合と連携し、災害時に少しでも被災者がでないような組織作りを図っていく。	5：地域		7/13に「町の防災組織連絡会研修会」を予定。町の防災組織の説明、自治会防災部の活動紹介を通じて、災害時に少しでも被災者がでないような連携の取組みを図っていく。		